

農林水産省の主な平成 28 年度国際的な栄養改善関連予算要求の概要

平成 27 年 9 月

農林水産省

各事項の右欄（ ）内は、平成 27 年度予算額

1. 現地における人材育成及びビジネス環境の整備に資する施策**(1) アフリカ・アジア等の幅広い地域向け施策****① 食品事業者等による栄養改善の国際展開推進事業【78（0）百万円】**

アジア・アフリカにおいて、栄養改善を図るための実態調査等への支援や、「食生活による栄養改善」等に関する講義を開催するための支援を実施。

② グローバル・フードバリューチェーン戦略の推進【200（150）百万円】

食産業の海外展開に向け、官民協議会等を活用し、先進国も含めた有望な国・地域におけるフードバリューチェーン構築のための調査・取組を支援。

(2) アフリカ地域向け施策**① アフリカにおけるフードバリューチェーン構築のための能力強化事業****【30（0）百万円】**

アフリカにおいてフードバリューチェーン構築に取り組む現地の人材育成等を実施。

(3) アジア地域向け施策**① アセアン諸国の大学と連携した人材育成促進事業【90（84）百万円】**

アセアン事務局に派遣するコーディネータの調整の下、日本の民間企業から専門家を派遣し、食品加工・流通等の分野の実践的な知識・技術を教育。

② アセアン地域後発開発途上国食品産業パートナー人材育成支援事業**【12（13）百万円】**

アジア生産性機構（APO）の知見やネットワークを活用し、アセアン地域後発開発途上国において我が国食品産業のパートナーとなる人材育成を支援。

③ アジア諸国における食品バリューチェーン構築のための官民連携人材育成事業**【16（18）百万円】**

アジア諸国におけるフードバリューチェーンの構築を推進するため、日本のシステムや民間企業の意向を理解し、現地での官民連携を主導する者を育成。

④ アジア食料生産力・付加価値向上人材育成事業【22（24）百万円】

アジアの開発途上国の農業青年に対し、日本の農業技術・付加価値向上等の研修を実施し、地域の農業リーダー育成を支援。

2. 農業生産力向上等のための施策

(1) アフリカ地域向け施策

① アフリカにおける地産地消（Chisan-Chisho）活動普及検討調査事業

【40（0）百万円】

我が国の地産地消の知見を活用し、アフリカ農業の商業的農業（儲かる農業）への移行を支援。

② アフリカにおけるマメ類・イモ類の生産性向上のための研究開発

【73（53）百万円】

アフリカの食料・栄養不足の改善の向上等に貢献するため、マメ類及びイモ類の生産性向上を目指した研究開発及びその成果の普及を支援。

③ 国内連帯を活用した『セーブ・アンド・グロウ』農業モデル推進事業

【21（21）百万円】

飢餓・栄養不良撲滅のための活動を行う我が国とアフリカ諸国の団体の連携を通じ、「セーブ・アンド・グロウ」（環境低負荷で効率的な農法）の知見や技術を共有し、アフリカにおける持続可能な農業生産の強化を推進。

④ 稲作等を通じたアフリカ食料安全保障復興支援・技術実証普及事業

【126（130）百万円】

農民主体での稲作生産基盤の復旧や、現地に適した水稻栽培技術の実証・普及により、アフリカのコメの中長期的生産性向上を支援。

⑤ アフリカ等途上国の農業生産拡大支援【14（49）百万円】

アセアン地域における開発途上国において、フードバリューチェーンに係る生産や流通等に関する技術指導等を実施。

(2) アジア地域向け施策

① 東南アジア地域持続的水産業推進事業【200（178）百万円】

東南アジア漁業開発センター（SEAFDEC）による、東南アジア地域における持続的な水産業の確立のための取組を支援。

② アセアン諸国等のキャパシティ・ビルディング支援事業

【166（173）百万円】

アセアンの開発途上国等における農業生産性の向上や農民組織の育成のための研修等を実施し、同地域内での栄養不足人口の削減や格差是正に貢献。

③ アジア諸国における野菜新品種の導入支援【18（17）百万円】

ミャンマー、ベトナムに適した野菜新品種の導入を支援するとともに、我が国種苗産業の事業展開に必要な環境整備を推進。